

近代文学研究家 故羽鳥徹哉氏を偲ぶ追悼展

(川端康成研究家 羽鳥徹哉氏追悼展)

会期：平成 24 年 10 月 5 日 (金) ～10 月 7 日 (日)

午前 9 時半～午後 5 時 (最終日は午後 3 時終了)

主催：小国文化フォーラム

会場 小国地域総合センター だんだん

[展示内容] 遺影 年譜パネル 著作物

写真パネル 他

講演 10 月 6 日 (土) 午後 2 時～3 時半

会場：大会議室

川端康成文学学会代表理事 林武志氏

演題[仮題] 「近代文学研究家 羽鳥徹哉氏の軌跡」



故・羽鳥徹哉氏

趣旨

小国町小栗山出身の川端康成研究家・成蹊大学名誉教授 羽鳥徹哉（本名：羽鳥一英）氏は昨年 12 月東京八王子市で逝去された。75 歳だった。氏の業績は川端康成のとどまらず、日本の近代文学一般に広がっていた。地元小国ではこの人物の大きさについて未知の部分も多い。改めてその生涯を振り返ってその業績を偲びたい。

羽鳥 徹哉（はとり てつや、1936年1月18日 - 2011年12月12日）

日本近代文学の研究者、成蹊大学名誉教授。

新潟県刈羽郡小国町生まれ。本名・一英。1959年新潟大学教育学部中学校国語科卒業、西蒲原郡中之口村、内野で教員生活ののち、1968年東京大学大学院国文学専攻博士課程単位取得満期退学。愛知教育大学助教授、鶴見大学教授、1982年より成蹊大学教授を勤めた。2004年定年退職、名誉教授。74年から徹哉の名を使うが、76年まで一英と併存していた。2011年12月12日、肺炎のため死去。75歳没。

川端康成を専門とした。

著書 [編集]

- 『もっとゆっくり大きく飛べよ』 教育出版センター 1973（虫ブックス）
- 『作家川端の基底』 教育出版センター 1979
- 『作家川端の展開』 教育出版センター 1993
- 『作家の魂 日本の近代文学』 勉誠出版 2006

編著 [編集]

- 『日本文学研究資料新集 27 川端康成』 有精堂出版 1990
- 『川端康成全作品研究事典』 原善共編 勉誠出版 1998
- 『横光利一事典』 井上謙、神谷忠孝共編 おうふう 2002
- 『現代のバイブル 芥川龍之介「河童」注解』成蹊大学大学院近代文学研究会 勉誠出版 2007

※ウィキペディア 羽鳥徹哉の項より



地図：会場

小国地域総合センター
（愛称・総合センター
だんだん）

住所

長岡市小国町新町 304
番地 1